



さざんくろす

Kinan Hospital

Vol.85 March.1st 2024

詳しくはこちら



『一般社団法人日本臨床検査専門医会
第3回年次大会開催にあたって』

中央臨床検査部長
尾崎 敬

このたび、日本臨床検査専門医会第3回年次大会の大会長を担当させて頂くことになりました。テーマは「臨床検査・研究・そしてワークライフバランス」で、開催日時と会場は、本年6月29日(土)・30日(日)、紀南看護専門学校(紀南病院敷地内)です(詳しくは大会ホームページ参照)。紀南病院・紀南看護専門学校の多くの方々に心から感謝申し上げます。

近畿地方での開催は、平成27年(2015年)に奈良市で開催されて以来9年ぶりとなります。日本臨床検査専門医会年次大会は、法人になって第3回目ですが、法人以前の春季大会を含めると第34回年次大会となります。

日本臨床検査専門医会とは、主に臨床検査の専門医資格を有する者あるいは臨床検査を専門とする医師で構成された全国学会で、会員数は632名です。前日の6月28日(金)は、岐阜市で全国国立大学法人病院検査部会議(44大学)があり、翌日の今大会に引き続き参加して頂ければと期待しています。また、公立大学法人病院検査部会議(8大学)も和歌山市であるとのこと、今回全国の大学病院と都市・地方病院の検査医・専門医・検査部関係者の方々が参加して頂ければ尚一層幸いです。

今回の大会(学術集会)テーマは「臨床検査・研究・そしてワークライフバランス」で、日本臨床検査専門医会の会員の先生方にとって絶えず向き合う課題ではありますが、この3つをどのように対応しているかは、個人個人の価値観によるところが大きいと思われれます。ワークライフバランスとは、ワーク(仕事)とライフ(生活)のバランスがとれた状態のことで、近年の働き方改革などの影響もあり注目を浴びるようになってきました。最近、ワーク(仕事)よりもライフ(生活)の充実を提唱する報道も見かけ、ワーク(仕事)とライフ(生活)に対する個人個人の価値観と乖離するケースもあり、今後の課題と思われれます。今回の大会に参加して頂くことで、個人個人の価値観をもう一度見直す機会になって頂ければと思います。

開催地の紀南地方(熊野地方)は、時代の流れや流行に、流されることなく普通の日々を重ね続けてきた地方です。それゆえに、歴史・文化・風土・自然・宗教観が昔のまま残されており。今回の大会ポスターに起用した南方熊楠は熊野地方を代表する偉人ですが、国内外で多くの経験を積んだ熊楠が、この地方をこよなく愛し、ここで彼の研究活動を続けたのも以上のことと深く関係していると思われれます。

熊楠は一地方の研究者で、他人の評価を気にしない人でした。サイエンスやアカデミーの世界ではあまり知られていないかもしれませんが、英文科学雑誌「Nature」に50以上の筆頭論文が掲載されるという、人類未踏の偉業を達成しました。熊楠の豊かな人生観を知って頂きたく、懇親会では南方熊楠記念館館長による講演会(タイトル)『博物学者 南方熊楠のワークライフバランス ～熊野での研究と人生～』も企画しています。研究と人生を謳歌し自然を愛した熊楠は、各方面で頑張っている多くの人々に「何か大切なもの」を与えることができる人物と思います。今回、この地に多くの関係者の方々に足を運んでいただき、熊楠が何故この地を選んだのかを少しでも感じて頂ければと思う次第です。そして大会終了後には、多忙な日常生活をもう一度見直す機会になれば幸いです。この原稿を読まれている方々で、今大会にご興味のある方々も当日参加できます(非会員の方は参加費 1万円が必要です、ただし学生は無料で当日受付で学生証の提示をお願いします)。

このサザンクロスの原稿を書いているころ、紀南地方は梅の花が既に満開です。紀南地方に春を告げる新宮神倉の千年以上昔から続く「御燈祭」はもうすぐです。



研修医日記



研修医 古茂田 知里

初めまして。紀南病院初期研修1年目の古茂田知里と申します。苗字が珍しく読み方も難しめの部類かと思いますが、「こもだ」と読みます。愛媛県の辺りに多い苗字だそうです。この度、サザンクロススの研修医日記を担当させて頂くことになりましたので、この場を借りて簡単に自己紹介させて頂こうと思います。

生まれ、育ちは兵庫県で、こちらで研修させて頂くことになるまでの24年間阪神圏を出たことがありませんでした。昔から興味の方向が勉強と音楽、漫画にアニメという人間で、あまり外向的な人間でなかったように思います。中学・高校は神戸女学院という兵庫の西宮にある学校で過ごしており、学校行事は文化祭のコンサートに出たりオルガン奏者をしたりの他はほどほどに楽しみ、相変わらず勉強とピアノばかりしていました。色々なチャレンジをさせてもらえる学校であったため、もう少し積極性を出してみてもよかったかなと今では思っています。

その後大阪大学に入学したのですが、高校までの環境と大きく違ったため、最初はなかなか馴染めなかったものの、なんとか勇気を出して卓球と合奏の部活に入りました。部活自体も楽しんでいたのですが、合奏の方でアンサンブル・オーケストラが気軽に出来る楽器の人達を羨ましく思い大学1年の冬にバイオリンを始めました。大学時代はなかなか上達しなかったのですが、最近では少し真面目に練習し、簡単なクラシックを弾けるようになり立派な趣味の一つになっています。

国家試験に合格し無事卒業後、ご縁があり紀南病院で研修させて頂くこととなりました。病院の方々にとってもよくして頂いていることや中高時代と似た雰囲気を感じていることもあり、とても楽しく研修させて頂いています。

早いもので研修も残り一年となりましたが、少しでも貢献出来るよう努力して参りますので、ご指導頂けると幸いです。

災害訓練

令和5年12月15日に、南海トラフ地震を想定した実働訓練を行いました。

災害において多くの人を救命するには、重症患者への対応が重要となります。迅速な治療や適切な医療機関への搬送等を迅速に行うことがより多くの人を救命に繋がります。そこで、今回は重症患者を担当する赤ゾーンを中心に訓練を行いました。

訓練終了後は、兵庫県災害医療センターに勤務されている室谷知孝先生と、今回の訓練を基にミニ勉強会を開催し、有意義な意見交換を行うことが出来ました。

今後も当院の災害対応のレベルアップのため継続的に訓練を実施していきたいと思えます。



◆ 機能評価受審 病院の質改善への取り組み

平成23年3月4日のことであった。1通の封書が届いた。それは、病院機能評価(Ver6.0)の更新認定証であった。折しも受験シーズンであっただけに、院内は志望校に合格した学生のような歓喜に包まれていた。

ここまで書くと紀南病院はこの後もずっと機能評価を受け続けたと思われるかもしれないが、事実は小説よりも奇なり、現実社会はそうすんなりと話が進まない。経営的には機能評価の認定を受けることにメリットがない、ということで、これを最後に受審を止めてしまったのである。

それから、十数年。院内では機能評価の「き」の字も聞かなくなった。もちろん我々は地域に質の高い医療を提供するため日々研鑽しているが、それを第三者に評価してもらうという発想は全くなくなった。

ところが、令和4年9月に出てきたがん拠点病院の要件を見て驚愕した。第三者評価が必須要件になっていたのである。突然、目の前に黒船が現れた気分だ。とは言え、急に第三者評価を受けることなんかできる訳がない。がん拠点病院の方は、令和5年度中に「受審予定」の回答でクリアできそうだが、さてどこに第三者評価をお願いしようか。いくつか評価機関があるが、結局以前に受審した機能評価がよかろうということになった。だが、受審となると、申し込みからコンサルタントの選定と言った作業がある。これらを早くしないといけないが、他の業務の合間を縫いながらの作業だったので、結局コンサルタントが決まり取り組みを始めたのが令和5年7月であった。かなりハードな日程である。

まあ、以前の経験があるので何とかなるだろうと思っていたが、いざ、コンサルタントと話を進めていくと、次々とやらなければならないことが出てきた。「インフォームド・コンセントの立ち会いルール」「口頭指示の手順」「こどもの患者の権利」「年間の教育研修計画の策定」・・・「検査実施時にパニック値が出た場合の対応。」「何、パニック値?」すみません、もうそろそろ私の頭がパニックになってま～す。

衰しいかな、いくら頭がパニックになってもこれはやらざるを得ない。総務課で事務局担当となっている職員が、現場に問題を投げかけ、現場からの疑問をコンサルタントに質問し回答を返す、それから進捗状況を適時に確認するという地味であるが重要な作業を粘り強く実施した。

また、機能評価で指摘されそうな掲示物の不備や設備関係、リネン等の整頓については、現場と管財課、委託業者が連携を取って対応して頂いた。ケアプロセス部門では、医師と病棟と医事課が連携を取りながら準備をしていき、内視鏡や心臓カテーテル検査部門の手順関係は、担当看護師と医師が協力して作成した。他にも、薬局、検査、放射線、地域医療連携室、リハビリ、栄養科、臨床工学部等々が評価機構の評価表を丹念に読んで部署の質改善に取り組まれていた。

この様にして、コンサルタントから改善すべき点として指摘された事項を1つ1つ解決してきた。担当のチェック表も、「対応済み」が多くなってきた。インフォームド・コンセントの立ち会いルールも出来、口頭指示の手順も作成し、こどもの患者の権利、年間の教育研修計画も策定し、かの検査実施時にパニック値が出た場合の対応も機能評価で求められる対応に進化していった。改善の成果が目に見えてくると、病院のレベルが上がった気がしてきた。受審日が近づいてきたが、何とかなるような気がする。

そして、いよいよ、受審日。この半年あまり、やれるだけのことはやった(はず)。ここまでくれば人事を尽くして天命を待つ、の心境だ。気合を入れて、審査会場に向かった。(続く……)

◆ CPCについて

中央臨床検査部 病理 栗山 行央

CPC (臨床病理カンファレンス: Clinico-pathological conference)は亡くなられた患者様の病理解剖結果について臨床医と病理医が集まって検討する会です。

一人の人間の全身臓器にみられる様々な病態をどのように考えるかを剖検の結果から学ぶためのもので、臨床側から臨床経過やデータが提供され、病理側から病理所見と臨床経過に対する考察、担当医の疑問点に対する回答などが提供されます。適切な治療のために、何をしたら良かったのかななどを振り返りながら検証していくことができ、さらなる医療の質の向上を目指すことができます。

病理検査では、解剖を行った後に取り出された臓器組織から標本作製し、顕微鏡で検索を行います。解剖自体は数時間で終了しますが、標本作って検索を行い、死因につながる因果関係を構築するのが最も時間のかかる作業です。この間、HE染色標本を調べ、必要があれば特殊染色・免疫染色を追加し、文献の検索、プレゼンテーション用の配付資料の準備などを行っています。

年を追うごとに剖検数やCPC参加者が減少していますが、亡くなった患者様の具体的状況や、治療経過について主治医から直接聞くことができる貴重な機会です。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆ 病院のまど

New Face さ〜ん

【 医師 】

①出身地 ②趣味・特技 ③一言アピール(敬称略)



ふるた よしき

《こころの医療センター》 古田 貴大

①愛知県 ②プログラミング・コーヒー
③精神科1年目なので、至らない点も多いかと思いますが患者さんの話によりそえる精神科医療を心がけています。

第135回がんサロン「ふれあい」 開催のお知らせ

日時:2024年4月5日(金)14時~16時

場所:2階第5会議室

※感染症の状況によっては中止になる可能性があります。開催状況については、当院2階の掲示板、ホームページにてお知らせしますのでご確認の上、ご参加ください。

学校だより

前期入試

令和6年1月18日と19日に前期入試が行われました。後期入試は3月7日と8日です。

2年生の臨地実習が開始

48回生31名の本格的な臨地実習が始まります。2月19日から3月5日まで老年看護学実習Ⅰが行われます。病院スタッフの皆さまご指導よろしくお願ひいたします。今回からは新カリキュラムの実習で、最終日は校内でリフレクションを行い、自己の看護を振り返り、学びを深めます。

国家試験

令和6年2月11日、看護師国家試験があります。今年は、試験会場は、大阪商業大学です。全員無事に合格できるようにと願っています。合格発表は3月22日です。

編集後記

2024年は、新型コロナウイルス感染症5類移行後、初めて迎える正月となり帰省される方も多い中、能登半島地震が発生し暗いニュースが列島を駆け巡る年の幕開けとなりました。当院から支援活動に向かわれた職員の皆様、本当にお疲れ様でした。いつ発生するかわからない南海トラフ地震に備え、これからの2024年は穏やかに過ごせることを祈ります。

M 記

The advertisement is split into two main sections. The left section features a collage of images: a hand holding a syringe, hands typing on a keyboard, and a group of people outdoors. Below this is the text 'daikoku GROUP' and '大黒グループが医療の未来を考えます'. At the bottom, it lists 'daikoku 株式会社 大黒' and provides contact information for the main office and Kinan branch. The right section features the 'SEIKO MEDICAL' logo with the tagline '医療の先へ。セイコーメディカル株式会社'. Below the logo is a message about their commitment to the healthcare industry and their community. At the bottom, it lists several branch offices with their addresses and contact numbers. The footer includes the 'SHIP HEALTHCARE GROUP' logo and the company name 'セイコーメディカル株式会社'.

daikoku GROUP
大黒グループが医療の未来を考えます

daikoku 株式会社 大黒

本社
〒640-8525 和歌山市手平 3-8-43 TEL:073-431-0316 FAX:073-423-1778

紀南支店
〒646-0011 田辺市新庄町 3778-2 TEL:0739-25-5040 FAX:0739-25-4776

SEIKO MEDICAL
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、
「生命を守る人の環境づくり」を通じて
地域の発展に貢献することが
私達の使命です。

■本社
〒640-8287 和歌山市美海6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店
〒595-0012 泉大津市北堂中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■紀大南営業分室
〒641-0012 和歌山市紀三井寺768番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所
〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所
〒647-0072 新宮市橋伏20番22号
TEL. 0735-31-8130 FAX. 0735-31-8133

■奈良営業所
〒632-0082 天理市常徳町56番地の4
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

SHIP HEALTHCARE GROUP
セイコーメディカル株式会社